

平成 29 年度 全国保健師長会活動方針

我が国は、世界に類を見ない少子高齢・人口減少の時代に突入し、地域住民は、自然災害や新興・再興感染症、疾病構造の変化、貧困と健康格差など、新たな社会の課題に直面しています。住民が自らの健康を獲得し、健全な生活を維持していくためには、その課題解決に向けた直接的支援と、環境や制度に働きかける間接的支援の両輪が求められます。私たち保健師は、個人、家族、地域に働きかけながら社会システムを整える活動を行ってきました。健康危機管理への対応や、虐待防止対策、自殺予防対策、生活習慣病対策、さらには地域包括ケアシステムの構築など、不確実性の高い課題にこそ地域特性に応じた専門性の高い活動の展開がますます求められます。

あらゆる世代や健康レベルの人々が、安心して健やかに暮らせるまちづくりをめざし、保健医療福祉や、産業、教育分野などの多様な機関との連携を強化し、PDCAサイクルに基づいた主体的な公衆衛生看護活動を展開することが私たちの使命です。

全国保健師長会では、いきいきと活力ある保健師を目指し、効果的かつ質の高い活動が展開できるよう、各ブロックの研修や研究的な取組の推進を図り、次世代を担う保健師の成長を支援しながら、全国の保健師のつながりを強化していきます。

平成29年度全国保健師長会活動テーマ

“社会の課題に向き合う公衆衛生看護活動の展開”

— 保健・医療・福祉をつなぎ安心して健やかに暮らせるまちづくりの実現—

平成 29 年度活動方針

1 専門性の高い公衆衛生看護活動の強化

- 地域に責任を持った活動を強化する。
- 統括的な役割を果たす保健師の配置を推進し、役割を確立する。
- 各自治体の特性に応じた保健師活動指針の作成を支援する。
- 保健師の現任教育の充実に向けた取組を推進する。

2 ブロック、支部活動の強化

- 効果的な保健師活動や人材育成等の取組などに関する情報交換・研修等を活発に行い、自主的な活動を推進する。

3 被災地における保健師活動の可視化及び各自治体における災害時対策の取組の促進

- 被災地の長期的な健康課題に対する保健師活動の実態を明らかにし、あらゆる機会を通じて発信する。
- 大規模災害時における保健師活動マニュアルを見直すとともにその活用を推進し、各自治体の災害時対策の取組強化に寄与する。

4 会員数の拡大

- リーダー的立場の保健師の入会を増やす。特に未加入市町村への働きかけを強化する。